

# か み

議会だより

6月定例会  
第18号

楽しいプールの時間

(香住区柴山小学校)

— CONTENTS —

- **町長の公約に議論白熱** 2～3
- 香住小の学校改築に まった 5
- 住民の声 届くか (15人が一般質問) 6～13
- この人 ここにあり 16

# 町長の公約に議論自熱

町長の選挙公約である町長、副町長給与の年俸制、副町長の公募による二人制、教育長給与の年俸制と公募は、いずれも賛成少数で否決されました。

## 質疑

**問** 年俸制の考え方は退職金廃止の考え方は副町長はなぜ二人か。内一人はなぜ女性か。公募方法、条件と選考方法は

**答** 年俸は、年間500万円を12回に分けて月額報酬とします。退職金は受け取りません。副町長二人は広い面積で必要です。女性副町長は女性特有の目線での行政参画とします。応募資格は、香美町がめざすまちづくりに深い見識、豊かな発想力、熱意のある方、満40歳以上の日本国籍を有する町内在住の方です。2千字余りの論文とポランティアによる選考委員会を考えています。

**問** 退職手当組合納付金の負担は

**答** 給与額に10000分の310の率の金額で、

町長、副町長、教育長も同じ負担率です。

**問** 公募して応募がなければどうするか

**答** 応募がなければ、推薦に切りかえます。

**問** 女性副町長の担当で教育委員会での教育長との関係は

**答** 教育委員会の独立性を保ち、教育長の権限にまで介入しません。

**問** 町の財政赤字の原因は。町長、副町長の期末手当全額削減の影響は

**答** 財政赤字の原因は、社会的投資が原因です。町長、副町長の期末手当削減は職員に影響ありません。職員は人事院勧告で法的に守られており、給料減額でなく、公僕としての原点を求めています。

## 緊急動議

質疑終了後、町長、副町長給与の年俸制と副町長2人制について、委員会付託に関する動議が出されましたが、賛成少数で否決されました。

**問** 報酬審議会の女性委員の割合は。退職金の議論はあったのか

**答** 審議会委員は10名で、内女性3名の3割です。退職金の議論はありませんでした。

**問** 期末手当は働く者の当然の権利。公選法で選ばれる町長と議員の選任議決の副町長、教育長の期末手当を同じ視点では疑問

**答** 期末手当を出さないことを理解して応募いただけるかと考えています。

**問** 町長は政治家か

**答** 厳しい町財政の中、裸になつても町のため尽くします。

## 副町長二人制について

**反対討論** 寺川 秀志 議員  
報酬審議会は、町長の諮問に否定的である。答弁にも疑問があり、納得できないので反対する。

**賛成討論** 田野 哲夫 議員  
副町長の公募は民主主義にかない良いこと、女性登用も町の活性化の第一歩であり賛成する。

**反対討論** 山本 賢司 議員  
副町長の給与減額が否決された上で二人制になると費用増となり反対する。

**賛成討論** 小林 利明 議員  
今回の提案はどんな町にしたい。その為にどうするかが問われており、賛成する。

## 町長・副町長給与について

**反対討論** 森 利秋 議員  
町長公約の退職金が廃止できないこと、報酬審議会が町長など三役の給与が同額で、かつ一般職より下回ることは、職責の重さから勘案して疑問という意見を尊重し、反対する。

**賛成討論** 西坂 秀美 議員  
自らを顧みず、まちづくりに熱意ある町長の意を酌んで賛成する。

**反対討論** 山本 賢司 議員  
働く者の権利であり、

生活給の一部である期末手当を否定することはできないので反対する。

**賛成討論** 小林 利明 議員  
直近の民意であるとして賛成する。

**反対討論** 西川 誠一 議員  
退職金廃止を公約しながら退職手当組合納付金を納めること、二人分副町長年俸額を考え、反対する。

**賛成討論** 田野 哲夫 議員  
町長の政治家たる熱意に敬意を表して賛成する。



**質疑**  
**問** 教育長公募の手順は

**答** 教育長は公募できないので、教育委員として公募し、教育委員互選により教育長は選任されます。

**問** 教育長候補の公募とは。教育長給与も期末手当は支給しないか

**答** 教育長公募は他町でやっており問題ありません。期末手当は支給しません。

## 教育長給与について

**反対討論** 森 利秋 議員  
二人制の提案理由の面積が広いは理由にならぬいし、女性意見反映は別途で可能。また副町長給与は倍額必要となり、報酬審議会意見も尊重し、反対する。

**問** 公募の方法は

**答** 香美町のめざす教育に深い見識と豊かな発想力、熱意をもって取り組んでいただく方で、論文提出を求め、町広報などで公募します。

**問** 教育委員会の民主的運営への町長の基本姿勢は。期末手当の特別職と一般職の差異は

**答** 公募に応募した人を資質などしっかりと選考委員会で選任していただきます。期末手当は特別職、一般職の差異はありません。

**反対討論** 山本 賢司 議員  
教育長公募は教育行政に介入すること。期末手当支給しないことは誤りで反対する。

**賛成討論** 小林 利明 議員

町長、副町長の減額とのバランスについては、施行日が8月実施で1ヶ月期間があり、その間に町長等給与の関連条例審議を期待して賛成する。

もつと  
住民の意見を!

# 香住小の 学校改築にまつた

## 補正予算 修正可決

### 補正予算

#### 一般会計

**補正額 1億2千834万円追加**

うち香住小学校校舎整備事業費

150万円を減額修正し可決

#### 特別会計

国民健康保険事業特別会計

**補正額 884万円追加**

老人保健事業特別会計

**補正額 543万円追加**

2特別会計とも全員賛成で可決

#### 質疑

**問** 有害鳥獣対策費補助金で、今後の要望に対応できるか  
**答** 今回の補正は県単事業であり、今後の要望については町単事業で対応します。

**問** 中野井堰の工法と工期は。また、藤橋の橋脚保護は  
**答** 工法は、コンクリート頭首工法で、工期は、9月下旬発注で、翌年3

月までです。藤橋の橋脚は、網に大きな石を置き沈める措置をしています。

**問** 香住小学校改築の説明を聞くと、長井、余部小学校の統合と幼稚園が入ることとも考えているように思えるが、幼稚園施設の地権者と話し合いはできているのか  
**答** 小学校の統合、幼稚園の問題は決定していません。

**問** タイムスケジュールは  
**答** 設計方法は、提案方式で業者への提案募集を8月中旬ごろに。提出を9月中旬ごろ、それを受け県のヒアリングと考えており、改築推進委員会と共に12月までに基本設計業務を終え、3月には実施計画を提出し22年度着工を予定しており、遅れば23年度着手になる予定です。

**問** 予算が修正されると実施年度が1年くらい遅れると説明があったがどうか

### 国民健康保険税の一部改正条例について

基礎課税（介護分）限度額及び税率等の一部を改正するものです。  
主な質疑は次のとおりです。

**問** この条例改正により、どれくらい増税になるのか  
**答** 標準モデル世帯では、年間で1千円増税となります。  
**問** 県下の自治体の中で本町の住民が負担する額は何番目か  
**答** 平成19年度では41市町中37位です。

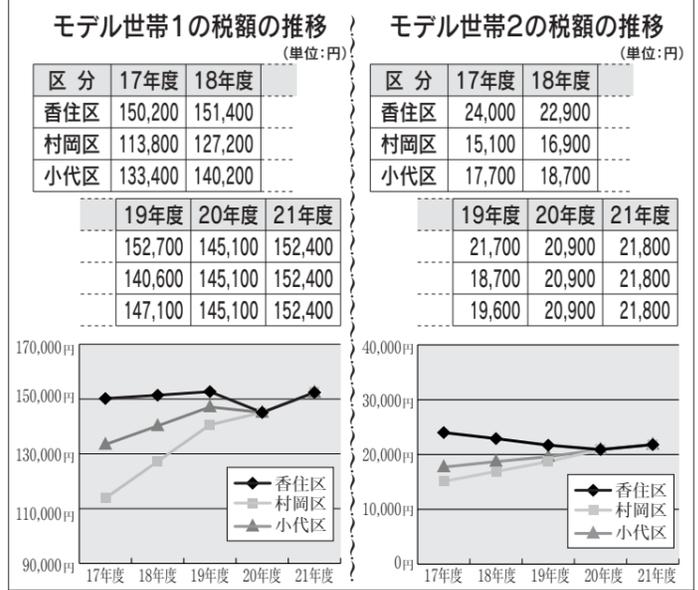
### 全員賛成で可決

## 国保税アップ 個別外部監査契約条例制定

### 平成21年度 モデル世帯における国保税額(医療分+支援分)の推移

(H21データ)

区分/摘要	モデル世帯1	モデル世帯2	香美町平均
	香美町全体の標準世帯	所得がなく、7割軽減の世帯	
被保険者数	2人	2人	1.9人
課税所得金額	987,000円	0円	987,728円
課税固定資産税額	62,000円	0円	62,640円



### 個別外部監査契約条例制定について

本町の実質公債費比率が25%以上であり、財政の健全化に関する法律により、外部監査が必要になることに伴い、条例を制定するものです。  
主な質疑は次のとおりです。

**問** この条例は法に基づいて、もう逃げることはできないと思っているが、この財政が苦しいときに費用はどれくらいかかるのか。だれに依頼するのか  
**答** 特別交付税措置が380万円程度入ってくるので、おおむねその程度で財務分析を公認会計士にお願いする予定です。

### 賛成多数で可決

### 知恵袋

外部監査契約とは、地方公共団体が、独立の第三者である外部監査法人の監査を受けるとともに、監査の結果に関する報告の提出を受け、内容を内容とする契約であり、包括外部監査契約と個別外部監査契約の2種類があります。外部監査契約は、地方分権に伴う国のチェック機能の低下を補い、適正な予算の執行を図るといふ観点から導入されたものです。  
外部監査契約の相手方は、普通地方公共団体の財務管理、事業の経営管理その他行政運営に関し優れた識見を有する者であつて、①弁護士、②公認会計士等です。  
議会は、外部監査人の説明を求め、または外部監査人に対して意見を述べることができま

### 修正案

**修正案提出者** 小林利明 寺川秀志  
**一般会計補正予算**  
学校費 香住小学校校舎整備事業費150万円を0円に減額修正し予備費に150万円を追加する。  
**理由** 質疑の明確な答弁がなく、校舎設計が1年遅れても、子どもたちはもとより先生、地域住民のより所として、立派な校舎を目指すことが重要と思ひ修正案を提出する。

**問** 設計が1年遅れても、現校舎で対応できると理解し、立派な校舎を目指すことが重要と思ひます。  
**答** 設計が1年遅れても、現校舎で対応できると理解し、立派な校舎を目指すことが重要と思ひます。

**問** 当局に質疑します。修正案が可決の場合、補助、建設費等財政的にどのような影響が出るのか  
**答** 予定では、国庫補助起債等検討しており、物価情勢等、現在試算はできないが、補助率が変わらなければ現時点の見込みになると思ひます。

### 提出者への質疑

**問** 手順を踏んで立派な小学校と言われるが、補正がなくても別の方法があるということか  
**答** 手順とは、生徒、保護者、先生、地域の意見をまとめ進めるべき。予算の枠どりではありませぬ。

**問** 予算が修正されると実施年度が1年くらい遅れると説明があったがどうか  
**答** 設計が1年遅れても、現校舎で対応できると理解し、立派な校舎を目指すことが重要と思ひます。

**採決**  
修正案が賛成多数で可決

# 町政を問う

6月定例会での一般質問は、6月22日から26日に15名の議員が町政全般について質問を行いました。

質問と答弁の要旨は次のとおりです。



このままでいいのか

前町長は山手土地区画整理事業の完結に向けて、大変強い意欲を示されて



浜上 勇人 議員

## 山手に対する新町長の考えは！ 組合と連携を図りながら取り組みます

いた。区域内の町道整備についても合併特例債の活用と言及されていた。また、事務分掌の部分でも建設課から担当職員を企画課に配属したり、新入職員を山手担当に配属させるなど、組合と町は「運命共同体」という考えを基本に対処されてい

た。前町長の考え方を踏襲して、町も深く関与し、問題の解決に向けて努力すべきだが考え方を問う

町長 基本的には、当初計画を描いた目的の達成と事業完了を目指していくということには、大きく変更する考えはありませんが、今日の状況を踏まえると現在組合が取り組んでおられる方向のままではいいのか、軌道修正すべき部分はないのか、改めて検討していただく必要があるのではないかと考えています。事業主体はあくまで組合であるという基本に立ち返り、保留地販売に努力をしていただく必要があると思います。



盛況さがなくなった町民号旅行



寺川 秀志 議員

町民号旅行は、旧香住町時代からJRの利用促進と町民の親睦を兼ねて実施されたと聞いている。今回、参加者が少ないので職員が動員され有給休暇をとって参加してい

町長 近年の厳しい経済状況を受け、参加者は減少し、募集定員を満た

している時期なので、現時点では、町民号旅行の廃止は考えていません。他に、城崎以西の電化促進などをJRに要望している。また、余部鉄橋の架け替え、特急はまかぜの新型車両の導入が進められようとしています。

廃止も含めて、見直しを考えては  
現時点での廃止は、考えていません



整備がまたれる橋

事業化、受注機会等、前任町長の地元業者に対する配慮を継承されるか  
また、森谷川・香住谷川の治水対策、県道香住村岡線改修整備計画の進捗状況及び矢田橋を含む



小林 利明 議員

治水対策は、本年2月に河川整備の基本方針を策定しました。審査会の諮問・答申を経て10月国土交通省に同意申請提出の予定です。

**町長** 建設事業、備品調達など町の発注は、町内業者優先の前町長の考え方をそのまま継承します。

国道178号線改修の見通しは

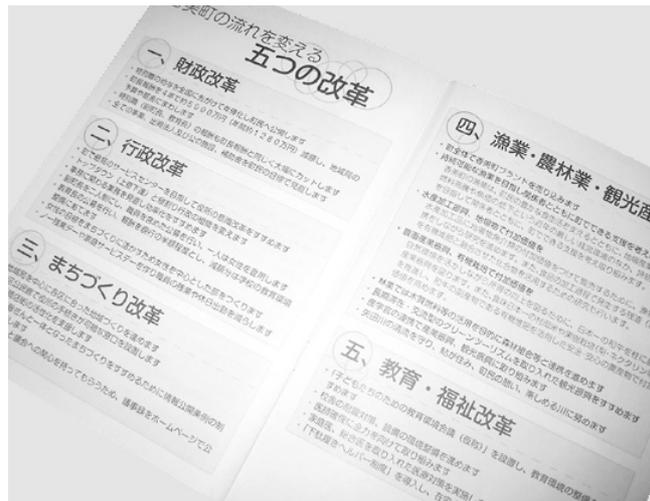
香住村岡線の改修は、大別して3事業で、大乗寺バイパスは24年度、村岡境バイパスは25年度の供用開始に向けて事業が進捗しています。  
国道178号の矢田橋は老朽化が激しく、改良計画の調整を県と進める必要があると考えています。現況の維持、補修は今年から進める予定です。

## 前町長の施策と考え方の継承は 地元産業振興の観点で継承します

改革として「流れを変えよう」「役所の無駄をなくす」とし、行政改革として「国や県に頼らない真の自治をめざす」とし、まちづくり改革として「地域局を中心に関区に合った地域づくりを進める」と町民に公約しているが具体的などのようなやり

方で実現するつもりか。可能なのか  
**町長** 行政改革で健全化に向かつてはありますが持続的ではありません。皆が危機感を持った改革が必要です。役所の無駄は外からではわかりませんが中に入ってから新

しい取り組みをします。また、財源の6割以上は国や県に頼っています。国や県に頼らざるを得ない状況は致し方ないです。地域局を中心とは、地域協議会で知恵を出していただき議論をしていただいて活性化を求めていくということなんです。



改革に向けて・・・



西川 誠一 議員

町長のマニフェストには五つの大きな改革が示されている。中でも財政

## 町長の改革とは具体的に何か 大きな目標を持って進むことです



サル捕獲檻に入った放れサル

区民の声「女こどもも  
寄りに向ってくる」「人  
間が大切か？猿が大切な  
ら私等を殺してくれ!!」  
私は「山に囲い込んで  
餌づけ、粗食に慣れさせ  
て山で餌う自然と共生を」



田野 哲夫 議員

と話す。「そういう山な  
ら提供する」「猿が出て  
こないなら余ったものは  
上げるよ」と……。  
生態系を壊す猪を早く  
駆除し、群れをなす生態  
を知る。霊長類たる猿を  
殺すには、猿塚をつくる。  
小代区民は猿にも優し  
い。区民と共に、むしろ  
旗を立て県庁へ行くが、  
一緒に行きませんか

町長 今年はないが猿

おりの設置、サルポイ犬  
の認定、追い払い、狩猟  
用衣服の着用、間伐バッ  
ファゾーンの設置、放置  
果樹の伐採、猿用防除柵  
の補助など行っています。  
今年度森林動物研究セン  
ターと住民との意見交換  
を行い、地域の実状を考  
えた対策で被害防止を図  
りたいと思います。  
県に陳情に行かれるな  
ら、私も同席します。

## 対猿策に、小代区民と共に県庁へ 議員が陳情に行くなら同席します



高齢者介護おまかせ



岡田 公男 議員

①公約実現にどのよう  
に取り組むのか②周辺地  
域は元氣、活力がなくな

## 町政をどう進めていくのか 4年間しっかりと取り組みます

町長 ①最初から全部  
ていくように感じる。均  
衡がとれたまちづくりを  
どのように行なうのか③  
財政調整基金積立は④産  
業振興をどのように⑤少  
子化対策は⑥高齢者、障  
害者が安心して生活でき  
る環境対策について問う

できることは至難です。  
4年間かけてしっかりと  
やっています。  
②地域局を中心に地域協  
議会で知恵、方策を出し  
ていただき活性化を取り  
戻します。周辺に十分目  
配りができるようにやっ  
ていきます。③今までの7  
億円を守ります。④農業、

産業が衰退しないよう関  
係団体と連携、産物に付  
加価値をつけ所得向上を  
目指します。⑤子供を生  
み育てるまちづくり、働  
く場所の確保、既存企業  
の設備投資、雇用拡大を  
図れる方策が必要です。  
⑥介護を要する状態にな  
っても住みなれた地域、  
家庭で自立した生活がで  
きるように社会基盤の充  
実強化をはかります。



便利さ求められる

高齢者、障がい者にとって、町民バスは足そのもので、時に通院には欠



谷口 眞治 議員

## 町営バスのきめ細かい運行を 利用見込み、経費など見て検討します

かせないもの。交通の便が悪い地域でのきめ細かい運行は高齢化社会にとって極めて大事な施策である。現行3往復を増便できないか。佐津畑線、三川線の増便できないか。現行の平日のみ運行を観光ルートとして、土・日・祝日運行できないか。町

民バス乗り入れしていない地域の乗り入れはできないか。巡回バスの運行できないか以上問う

光運行については、マイカー利用が多く、難しいです。乗り入れしていない地域の乗り入れは、道路条件、利用見込み、全体ダイヤなど踏まえ、個々に検討します。巡回バスの運行は現在3台の体制では難しいです。過疎化社会の交通確保は、スクールバス、町民バス一体として検討します。

つけて安否を確認し、介護のできる体制を実現するために考え出されました。村がヘルパー養成講習会を開き、村民にヘルパーの資格を取ってもらい、一人ひとりのヘルパーが「下駄履きで行ける範囲」に出向くという仕組みです。栄村ではこのような地域での助け合いの結果、介護は充実し、さらに保険料が安くなるという効果もありました。

### ● 安心して利用できる介護制度を

香美町ではヘルパーに来てもらうのにかかる時間が、介護を受けている時間よりも長い地域もあり、安心して自宅で老後がおくれる状況になっていません。もともと隣人が年寄りを手を助けて生活してきた習慣があります。介護を受ける側も介護をする側も安心して利用でき、保険料も高くない「香美町版・下駄履きヘルパー」を実現したいと思います。あなたもぜひヘルパー養成講習会に参加してください。

#### 【その他の取り組み】

- ・医師確保に全力で取り組みます
- ・家庭医、総合医を取り入れた医療対策を実施します

P.6

マニフェストの実行は



森 利秋 議員

## 下駄ばきヘルパー制度どう実行するか ヘルパーは足りているので実行しません

①「下駄履きヘルパー制度」どう実行するか  
②モデルである長野県栄村では21年度介護保険料52%アップした、町長はどう認識しているか

町長 ①現在の制度では実行は難しいと認識しています。香美町の現状では介護保険の被保険者数は横ばいで推移しており、常勤ヘルパーが16人、登録ヘルパーが36人、計52人で稼働しており、まだまだ余裕がある状況です。私の認識不足だったということですが、ヘルパー養成講習会も開催致しません。

②長野県栄村の介護保険料制度では訪問介護事業所とデイサービスセンターとが中心で、ヘルパーが介護の中心を担っていません。在宅サービス中心で介護保険料は低く抑えられてきていましたが、平成18年度に特別養護老人ホームができ、施設入所者が増大しました。そのため施設介護給付が増大し、介護保険料も上がったということですが、



過疎少子化対策は

町に結婚支援対策の担当部署をつくって、定期的な会合をもって、社協、



岸本 正人 議員

## 過疎化対策は まず結婚支援対策を 結婚支援対策を進めていきます

町のサポート事業の職員、その他各関係機関の方とネットワークをつくって推進できないか。厚労省の「安心子ども基金」を活用し、子育て・結婚対策ができないか

町長 結婚につきまはてはプライバシーにかか

わるデリケートな問題であり、提案の結婚支援対策会議の設置より、今行っている支援を今後も進めていきたいと考えています。「安心子ども基金」は21年22年の2年間で県の補助を仕組んでいくことになっております。町では1200万円程度で、

補助率は100%です。内容的には、子育てボランティアへの育成の分と、結婚対策の関係があります。子育てにしましても、結婚対策の内容も十分内部で詰めて計画を県に提出します。



がらんとした庁舎周辺



上田 勝幸 議員

## 庁舎周辺の農用地の規制外しては 農地の所有者全員が賛成なら考えます

今や香住区では、庁舎周辺が交通の便、また商業施設の集積地として、一番の賑わいを見せている地域だと思う。22年度には余部道路も開通する。そうならば、マイカー、

観光バス等、大いにその道路を利用されると思う。その時、ただ素通りする道路では困る。町内で買い物をし、観光をして頂く、そういう道路であってほしいと思う。そのために庁舎周辺農用地の規制を外し、宅地転用を認めてはどうか

制約があります。治水対策も大きな問題の一つですし、優良農地を保有するという制度上の立場と、開発を行う利用目的等の必要性との比較をしながら慎重に考えていかねばならぬ事案だと思えます。農地の所有者全員が規制を外してほしいとの要望があるならば、その時は町の方も前向きに検討させていただきま



子育て世代は大変です

大不況の中、子育て世代の方々には特に厳しく、共働きでないことやついでにできないし大変な思いで子育てをしている。どの町でも将来を担う子育て対策には非常に力を入れ



西坂 秀美 議員

町長 厳しい財源の中で削れるものは思い切つて削るといふ視点でもの

町長 厳しい財源の中で削れるものは思い切つて削るといふ視点でもの

町長 厳しい財源の中で削れるものは思い切つて削るといふ視点でもの

町長 厳しい財源の中で削れるものは思い切つて削るといふ視点でもの

## 子育て支援にどう取り組むのか 次世代を担う子育ては積極的

ている。

子育て支援はいかに財政厳しいとはいえ町長に課せられた大きな課題だ。

町民目線で事務事業を見直し徹底した財政改革

で子育て支援、子どもを大切に扱う取り組み、義務教育期間の通学費全額

町長 厳しい財源の中で削れるものは思い切つて削るといふ視点でもの



複数者の出張は公用車を利用



植田 隆博 議員

職員が公務で神戸へ一泊二日の出張をした場合、日当二日分4千400円、

宿泊費が9千800円、合計1万4千200円が支払われている。これには領収証の添付の必要はなく裏付けのない金額が定額払いの名の下に支払われている。日当の廃止、宿泊費を実費払いにする考えはないか

町長 公務員の旅費は法律で決まっております。町としても近隣市町との整合を図りながら条例で定め

町長 公務員の旅費は法律で決まっております。町としても近隣市町との整合を図りながら条例で定め

## 職員の旅費規定 見直しを！ 町民目線で直していききたい

直しは考えておりませんが、しかし町民の皆さんから見えて理解できない内容であるとすれば、直していききたいという考えは持っております。



主要道路の現状

香美町が重要施策として取り組んできた主要道路整備で、香住区の大乗寺バイパス、村岡区の境バイパスは着手したと聞

くが、小代区大谷バイパス、町道岩小屋線の国道編入については、大谷バイパス同様に、今後ともお願いしていきます。



吉田 増夫 議員

## 主要道路整備の取り組みは 防災工事を21年度より着手します

編入、防災工事の進め方を問う

**町長** 大谷バイパスは23年度事業着手ということと22年度に事業評価していたかどうか進めており、県も小代地域局、地元住民の要望等協議し進めていくように聞いております。町道岩小屋線の国道編入については、大谷バイパス同様に、今後ともお願いしていきます。



1日も早く通学対策を



山本 賢司 議員

現在の行革大綱は進めるといって、子育て世代の経済的負担は重い。今

## 行革見直しは、通学対策から 行革大綱は進め 負担は求めます

の予算には、議会費で1千450万円の不用額、一方で遠距離通学の子どもにかける負担は、281万円となる。10月から無償にする財源はある。更に、香住区内の小学校統合も今後ありうる。遠距離通学の地域が広がりがねない。

大綱の見直しは、通学対策は全学町費でということから始めよう。「教育長、財源はある」と町長は言うべきだ

**町長** 財政健全化のために負担をお願いし、小学生で8千円、中学生で1万6千円を限度とし

ています。即廃止、無償とはしません。検討します。大綱で皆で負担をとという流れをつくっていきます。大綱は皆の知恵、これを進めていきます。  
**総務部長** (補足)  
現在の議会費は、5月15日から16名、10%減額せず計上しており、10%減額分で6,700万円の不用額が見込まれます。

# 請願

## 次期定数改善計画の実施と義務教育費 国庫負担制度の堅持に関する請願

請願者 兵庫県教職員組合美方支部  
支部長 中尾 寿  
紹介議員 小林 利明

### [請願事項]

1. きめの細かい教育の実現のために、義務制第8次教職員定数改善計画を実施すること
2. 教育の自治体間格差を生じさせないために、義務教育費の国庫負担率を2分の1に復元することを含め、制度を堅持すること
3. 家庭の所得により教育の進路に影響がでないよう、就学援助制度の拡充と奨学金制度を「貸与」から「給付」に改善すること
4. 教育予算の充実のため、地方交付税を含む国の予算を拡充すること

### 産業建設文教常任委員会に付託

委員会審査ではあらかじめ紹介議員より参考資料が手渡されており、これらを参考にして紹介議員から説明を受け質疑を行なう。

採決の結果、全員賛成で採択



本会議場にて産業建設文教常任  
委員長より審査報告

**本会議採決 全員賛成で採択**



有機堆肥で生産するピーマン



西村 伸一 議員

人口の減少を続けるこの町では、産業の振興こそ最も必要不可欠である。町長は町民の目線で流れを変えようと訴えられて、ここで流れを変えないとこの町はないと思う。そ

こで①稲作果樹特産物の振興策は②和牛の将来の方向は③有機堆肥を利用した振興策は④新規就農者事業の取り組みの経過と今後の支援についてこれから4年間の農業に関する方向づけを問う

〔町長〕農業の中の稲作果樹特産物の振興は、但馬牛の生産拠点であることを生かして畜産農家と耕種農家が有機堆肥の生

産を行ない農地還元循環システムの拡充により環境保全型農業を推進します。  
健康な土づくりのもとにお米や有機野菜など高付加価値の作物づくりに更に手がけていきます。村岡米の金賞は、気候風土を利用したことが消費者から高い評価を得ていると思います。今後も関係機関と連携し栽培面積を拡大していきます。

**流れを変える農業政策は何なのか  
関係機関と連携し栽培面積の拡大**

# 指定管理

# ハチ北温泉 湯治の郷

香美町民間活動等支援交流センター

**問** 従来の指定管理料は、損金の2分の1または80万円を限度としたが、今度は上限100万円とはどういふことか

**答** 営業赤字が毎年150万円相当出ています。利用客も平均3万4千人程度まで減少、大幅収入の増益が見込めないことから組合との協議の結果、上限80万円から100万円に引き上げを予定、補正予算に計上しました。

## 質疑



# ハチ北温泉協同組合を再指定

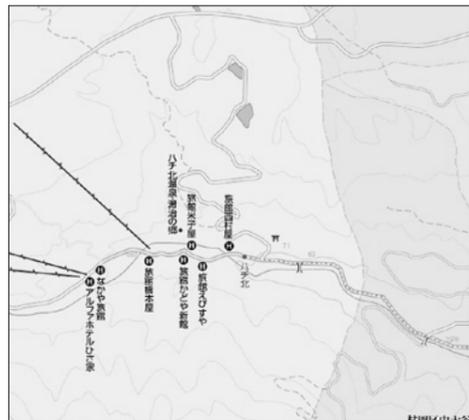
代表理事 西村 吉雄

【指定期間 平成21年7月1日～24年6月30日まで】

**問** 100万円への引き上げは町負担が増える。指定管理者の経営責任と経営努力はどう考えているのか

**答** 慢性的な赤字を抱えていることから改定したものです。他の指定業者から言われてもいけないの思いもある中、今回やむを得ず認めました。

◆ハチ北温泉湯治の郷所在地



香住区下岡  
やまもと ちなえ  
山本 千奈恵 さん



小代区大谷  
おおた がおさむ  
太田 垣 修 さん

## 人権擁護委員(法務大臣へ)推せん

**お詫びと訂正**  
6月25日発行の臨時号の中で4ページの森利秋議員のモットーは、”知即行”の誤りでした。お詫びして訂正いたします。

# これで守ります地域災害 請負・契約



## 消防ポンプ車

(村岡支団)

村岡特設第二分団へ)

## 小型動力ポンプ積載車配備

(香住支団・佐津分団と奥佐津分団へ)

**契約者** 株式会社 吉谷機械製作所  
取締役社長 吉谷 典雄

**金額** 3千444万円

**入札** 4者による指名競争入札

## 質疑

**問** 現車両は使用可能か。ネットオークションに出展するなどの発想はないか

**答** 学校給食車などで競売することはありますが、消防車がなじむかどうか具体的に検討します。

**問** 入札4者の指名理由と落札幅の大きいことと仕様書の指示に影響はないか。車検の委託先の方法はどうか

**答** 過去の実績による4者の指名を入札審査会で検討しました。仕様書への影響があるとは考えていません。従来から車検は納入業者

者とし、入札はしていません。ただし、町外の納入業者の場合は地域性を考慮して車検を発注しています。

**問** 3台一括購入とはどういう考えからか

**答** なるべく個別に出すのだが、今回は経済性を加味し3台一括としました。

## 町道香住港湾線 自歩道整備工事(5工区)

**契約者** 株式会社 中村建設  
代表取締役 中村 裕司

**金額** 5千197万5千円

**入札** 8者による制限付一般競争競争入札



# この人ここにあり

(香住区)



お 幸 男 氏  
お 幸 男 氏  
お 幸 男 氏

今回は、香住区で米地協業組合長としてみその生産を通して地域おこしに頑張っておられる八木幸男さんにお話を伺いました。

**米地協業組合は、どのような目的で結成されましたか**

婦人労働力の活用と地域の発展を目的に設立しました。

**現在の組合員数と、何人の方が生産に参加されていますか**

米地区内の12戸中11戸が、参加されています。作業の従事には、8人の主婦で構成し、平均年齢は、61歳です。

**組合の会費、運営費等はどのようになっていますか**

製品の売上げ収入で賄っています。

**どのような活動をされていますか**

主なものとして、みその製造と販売をしています。10月～翌年6月はみそ造り。一年を通して(毎週2回)みそ詰(製品)の作業を行っており、女性のコミュニケーションの場ともなっています。



人気商品の米地みそ

**組合を運営する中で、苦労とか悩みはありますか**

過疎化と高齢化に伴い、労働力の低下と後継者不足で、苦労しています。

**苦労が報われたと思えることは**

前組合長橋本三郎さんが区民をまとめ、組織の目標のために大変な努力をされました。その結果、婦人の活力ある職場として定着し、皆が生き生きと活動している姿を見ると安らぎます。



**今後の活動目標としては**

現在の活力ある職場をいつまでも維持し続けたいと思っています。

**米地(めじ)協業組合の歩み**

昭和57年冬期間の労働力の活用と農産物の活用を目的に設立される。また婦人部の勉強会、話し合いの場作りと所得の確保のため、公民館、車庫を使用して収穫大豆による自家用みその共同加工を開始する。昭和58年には香住町農協パベルコンクールで最優秀賞を受賞し、JAの委託をはじめめる。昭和60年組合を設立し、みその加工場を建設する。平成元年熟成みそ主体に販売をする。平成8年第1回みそ祭りを開催し、本年度14回を数え多くの人で賑わう。その間、農林水産大臣賞を受賞。ひょうごブランド食品に認定される。

また新たな取り組みとして、貯蔵庫の建設、製造機器の更新、深層水を活用したみその試作もおこない、現在では、手作り無添加で塩分控えめ・より良いものを良心的価格でモットーに製造を続け、米地みそとして好評を博している。



米地みそ祭り賑わう

**地域との連携とか関わりは、どのようにされていますか**

組織の目的である区民全体で盛り上げていくた

め、米地みそ祭り(例年6月)を開催して区民総出で対応し、活気ある地域づくりを行っています。

## 編集後記

議会広報特別委員会が新しい委員でスタートしました。新人議員は、4名全員が委員となり、議会についていろいろと学ぶ機会を得たものと張りきっています。そんな新人議員も定例会1回、臨時議会2回を経験し、少しずつたくましくなっています。

さて議会広報の編集方針は、町民が親しみをもつて「読んでもらえる広報」づくりを第一に考え、議員の議会活動の様子を広く町民にわかりやすく情報提供することとしています。委員全員が、この編集方針をしっかりと頭に入れ、頭をかきかき張りたいたいと思います。

町民の皆さんの議会広報のご感想をお寄せ下さい。(下)

編集発行責任者

議長 吉田 範明

議会広報特別委員会

委員長 西村 伸一

副委員長 谷口 眞治

委員 寺川 秀志

委員 田野 哲夫

委員 岸本 正人

委員 植田 隆博

委員 吉田 増夫